



2025 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 日本紙パルプ商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員
渡辺 昭彦
(コード番号：8032 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 管理本部本部長
藤井 賢一郎
(TEL：03-3534-8522)

配当政策の変更（DOE 指標導入）及び 2026 年 3 月期（第 164 期）配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2025 年 11 月 6 日開催の取締役会において、配当政策の変更について下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

また、今回の配当政策の変更に伴い、1 株当たりの配当予想について、修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 配当政策の変更（DOE 指標導入）

（1）変更の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要施策のひとつとして位置づけ、長期にわたる経営基盤の安定と強化に努め、企業価値の向上を目指しております。

この度、株主の皆様への還元をさらに充実させ、安定的な配当を行う姿勢をより一層明確にするため、中期経営計画 2026 の残り期間（2026 年 3 月期及び 2027 年 3 月期）におきましては、連結配当性向に加えて、連結自己資本配当率（DOE）を新たな指標として導入することといたしました。

（2）変更の内容

（変更前）

当社は、配当につきましては、安定的な配当を継続して行うことを基本方針とし、連結業績の動向も勘案することとしております。また、剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年 2 回行うこととしております。なお、2024 年度よりスタートした中期経営計画 2026 の期間におきましては、市場の期待に応える積極的な株主還元として「連結配当性向を 30%以上とする累進配当」を行う方針としております。

（変更後）

当社は、配当につきましては、安定的な配当を継続して行うことを基本方針とし、連結業績の動向も勘案することとしております。また、剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年 2 回行うこととしております。なお、2024 年度よりスタートした中期経営計画 2026 の期間におきましては、市場の期待に応える積極的な株主還元として「連結配当性向を 30%以上とする累進配当」を行う方針としておりますが、中期経営計画 2026 の残り期間（2026 年 3 月期及び 2027 年 3 月期）におきましては、1 株当たり年間配当金について「連結配当性向 30%以上かつ連結自己資本配当率（DOE）3%以上とする累進配当」を行う方針といたします。

（3）変更の時期

2026 年 3 月期の期末配当より適用いたします。

（2026 年 3 月期の中間配当につきましては、変更前の政策に基づき実施いたします。）

2. 配当予想の修正（増配）

（1）修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	円 銭 14.00	円 銭 14.00	円 銭 28.00
今回修正予想		20.00	34.00
当期実績 (2026年3月期)	14.00		
前期実績 (2025年3月期)	125.00	12.50	—

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期第2四半期末の配当金額については、当該株式分割前の実際の配当金額を記載し、2025年3月期の年間配当金合計は「—」と記載しております。なお、株式分割の影響を考慮した場合の2025年3月期の年間配当金は1株当たり25円00銭となります。

（2）修正の理由

上記の配当政策の変更に伴い、2026年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり14円00銭から20円00銭に修正いたします。これにより年間の配当は1株当たり34円00銭となる予定です。

（注）上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の配当は今後の様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

以 上